

2020年1月1日  
Press Release  
アカマイ・テクノロジーズ合同会社

## 年頭所感 アカマイのエッジプラットフォームが実現する セキュアで高品質なデジタル体験

謹んで初春のお慶びを申し上げます。

皆様にとって2020年が実り多い1年となりますように心よりお祈り申し上げます。

2019年は、国民全体のサイバーセキュリティ対策への意識の高まりが向上した年でした。

2020年という年は、いよいよ国内で5Gサービスの商用化がスタートするほか、昨年のラグビーに引き続き世界的なスポーツの祭典の自国開催といった大きなモーメントを控えています。開催国を狙ったサイバー攻撃の増加のほか、ストリーミング配信によるモバイル視聴観戦の増加といったトレンドが予想されます。また、5Gの普及によって、膨大な数のコネクテッドデバイスが高速でリッチコンテンツをやり取りすると予測されています。インターネット上の配信データ量が飛躍的に増加することから、分散型のエッジでの処理がさらに重要になることでしょう。アカマイのグローバルなコンテンツ・デリバリー・ネットワーク（CDN）は、先日初めて106 Tbps（テラバイト/秒）のピークトラフィックに到達しました。毎秒106テラビットを配信することは、2時間のHD動画を毎秒3,300本、すなわち1時間に約1,200万本ダウンロードするのと同様のことです。数百万人が視聴する有名なスポーツトーナメント、ゲームのダウンロード、人気シリーズの最終回などの個々のストリーミングイベントを大規模にサポートしながら、同時に当社のネットワーク上でビジネスを行うその他数千のお客様に同じ高品質のパフォーマンスを提供するアカマイのEdgeプラットフォームの機能には唯一無二であると自負しております。

そのほか、5Gの普及によってスマートシティや医療・介護現場の革新・変化、コネクテッドカーの発展・進化に期待が集まる一方でそのセキュリティへの懸念も挙がっています。それらを見据えたサイバーセキュリティ意識の高まりや、ビジネスのデジタル化の加速、働き方の多様化などにより、企業のセキュリティ戦略は大転換を迫られています。しかし、現状を見ると、攻撃の進化に対して、スキルの不足などを背景にリスクが増大していること、システムの複雑性が増していること、タイムリーに対策を打つための俊敏性が不足しているという課題があります。実際、調査によると、半分以上の企業が自分たちでセキュリティを守れないと考えています。

アカマイは、約140カ国に配置した26万台超のサーバー群から構成される世界最大級の超分散型エッジプラットフォームを通じて、お客様に快適で安全なデジタル体験をもたらしています。

比類のないスケールを誇るアカマイのエッジプラットフォームは、高速で快適なユーザー体験や強固でインテリジェントなクラウドセキュリティを実現します。さらに、IoT 時代における革新的なメッセージング基盤をもたらし、プライバシー問題に有効な解決策を提供し、企業のデジタル変革を支援、促進します。

2020 年も、アカマイは引き続き皆様のデジタル戦略を支えるべく、邁進してまいります。

#### **アカマイ について：**

アカマイは世界中の企業に安全で快適なデジタル体験を提供しています。アカマイのインテリジェントなエッジプラットフォームは、企業のデータセンターからクラウドプロバイダーのデータセンターまで広範に網羅し、企業とそのビジネスを高速、スマート、そしてセキュアなものにします。マルチクラウドアーキテクチャの力を拡大させる、俊敏性に優れたソリューションを活用して競争優位を確立するため、世界中のトップブランドがアカマイを利用しています。アカマイは、意思決定、アプリケーション、体験を、ユーザーの最も近くで提供すると同時に、攻撃や脅威は遠ざけます。また、エッジセキュリティ、ウェブ/モバイルパフォーマンス、エンタープライズアクセス、ビデオデリバリーによって構成されるアカマイのソリューションポートフォリオは、比類のないカスタマーサービスと分析、365 日/24 時間体制のモニタリングによって支えられています。世界中のトップブランドがアカマイを信頼する理由について、<[www.akamai.com/jp/ja/](http://www.akamai.com/jp/ja/)>、<[blogs.akamai.com/jp/](http://blogs.akamai.com/jp/)>および Twitter の@Akamai\_jp でご紹介しています。

※アカマイとアカマイ・ロゴは、アカマイ・テクノロジーズ・インクの商標または登録商標です  
※その他、記載されている会社名ならびに製品名は、各社の商標または登録商標です